

こんにちは。または、初めまして。創作文芸を中心に活動するサークル、『雪待終夜』の鈴響雪冬です。

前橋では八ヶ月ぶり、最後のイベントから七ヶ月ぶりとなる、要は久しぶりのイベント参加となります。最後に前橋のイベントに参加してから発行した本は一冊。人から見れば遅筆かも知れませんが、私からすれば順調順調。これからも一年に一冊というカタツムリをライブル視でき

る速度で活動していくつもりです。二二〇ページの同人誌一冊出せば、いい方だよね？ いいつて言って。

先日気が付いたのですが、サークルとして活動を始めたのが二〇〇二年の二月ですから、ついにサークル活動も六年目に突入。サークルのメンバーも、名前も活動当時とは変わり、他にも変わったところは沢山あったでしょう。しかし、根っここの部分は何一つ変わっていないと思っています。むしろ、変わっていて欲しいと願っています。

いつまで経っても私は私であり、それ以外の何物でもなく、そんな私によって生み出される作品というものも、表層の部分で変わっていても、本質は変わっていない。そんな姿でありたいものです。

さて、参加予定のイベントですが、五月のコミティア、六月の高崎、七月の宇都宮、八月の夏コミ辺りを考えています。コミティアと夏コミは既に申し込んであるので、当選するかどうか、ですね。それではまたどこかで。

作品紹介

短編・短編集

洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかのバレンタインの物語 [200円：A5・50P・レーザー（表紙黒単色）]

恋い焦がれる男と、恋破れそうな女。洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかの物語は、バレンタインを境にどうなるのだろうか。紙の都合上、表紙の印刷が剥がれやすいかも知れません

中編

巫女のスゝメ [250円：A5・68P・レーザー（表紙4C・^{インクジェット}1J）：合同誌]

時代も場所も違う二つの神社に、二組の巫女がいた。家族三人で神社を切り盛りする巫女達と、その立場にありながら神の存在を問う巫女。彼女達は何を拠り所にして生きているのだろうか。

恋の from A to Z [100円：B5・48P・レーザー（表紙黒単色）]

五組の男女がいた。友達、恋人、夫婦、それぞれの関係は違うけど、考えていることはみんな同じだった。彼らが紡ぐ「恋の始まりから終わりまで」の26の物語は最後はどこへ辿り着くのだろうか。

長編

光になりたい ～上巻～ [300円：B5・64P・レーザー（表紙4C・1J）]

光になりたい ～下巻～ [250円：B5・80P・レーザー（表紙4C・1J）]

聡のクラスに少女が転入してきた。目が見えないだけのその子は、普通の人だった。ある日、彼女は「同じ部活の子が苛められている」と、聡とその友人に相談を持ちかけた。どうしてもその子を救いたいという彼女のために、聡達は立ち上がることになった。

ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、降りしきる雪 [550円：A5・202P・レーザー（表紙4C・1J）]

ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、夜空に輝く月 [600円：A5・220P・レーザー（表紙4C・1J）]

好きという感情？ それがあると、満腹になるまでご飯が食べられるの？ それがあると、死んだ人が生き返るのか？ 人を好きになって…自分を傷つけることになるのなら、始めから人のことなんて好きにならなければいい。そうすればもう、辛い思いなんてしなくてすむから。

一人の少年と少女、二人の目の前に少女は現れた。それはまるで、季節を払拭する颯のように。ある時から止まっていた三人の歯車が急激に動き出す。その歯車によって、三人は一体どこに向かうのだろうか。（全4巻を予定）



最新刊の紹介

ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、夜空に輝く月

出会いはありふれたものではなかった。それでも、気が付いたときにはそこに遼風さんがいて、気が付いたときには同じ病室でお話をしていた。

でも、出会いは別れといつも一緒。花はいつかは枯れる。目の前の花もそれは変わらない。だから、別れは必ず訪れる。

でも、離れたく無いとも思った。やがて訪れる別れと割り切れない自分がいた。だから私は、遼風さんの切願に笑顔で返した。

出会いによって揺れ始めた二人の心。それは満ち欠けを繰り返す月の姿によく似ていた。満月から新月へ。新月から満月へ。

二人は、その中のどの姿の月を選び出すのだろうか。そして二人の前に現れた少女は、二人になにをもたらすのだろうか。

今回のスペース配置

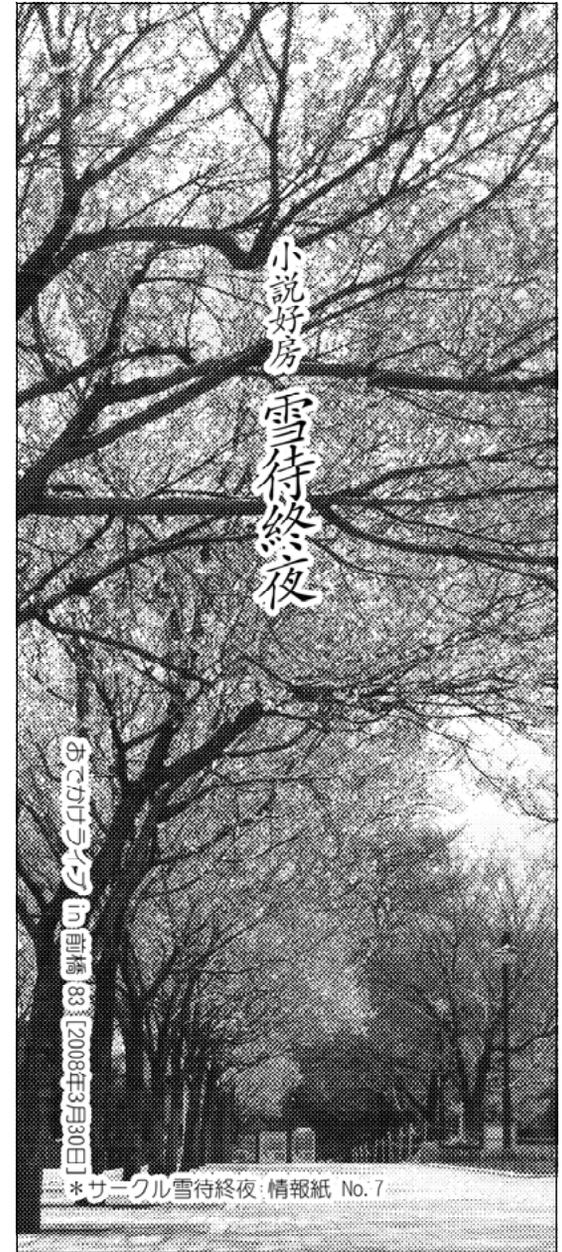
G-18 (創作一般)

ウェブサイト [小説・音楽・同人・通販]

<http://snowysnow.sakura.ne.jp/>

表紙の写真

2008年3月27日、群馬県にて撮影。



小説好房 雪待終夜

おでかけクラブ 101 直橋 83 | 2008年3月30日

*サークル雪待終夜:情報紙 No. 7